

臨床放射線

編集委員

今井 裕
後閑 武彦
栗原 泰之
橋本 順
森 壘
中村 和正

編集協力委員

畠中 正光
小川 恭弘
松永 尚文
森 宣
村田 喜代史
淡河 恵津世
西山 佳宏

編集後記

▶ 本号の特集は「CTとMRIのサインから読み解く病態・病理」を取り上げました。放射線診断領域では、これまで画像所見を表す多くのサインが日常診療や学会等で用いられてきましたが、今回の特集では、CTならびにMRIにおける病態や病理の理解に役立つ特徴的な所見を各領域のエキスパートに分かりやすく紹介して頂きました。読者の皆さんも名前を聞くと画像を頭に思い浮かべる方も多いと思いますが、改めてサインが示す画像所見の意味やその成り立ちを理解する良い機会になると思います。今回のPart Iでは、「消化管・腹腔領域」「肝・胆・膵領域」「泌尿器・男性生殖器・後腹膜領域」「婦人科領域」と腹部領域を取り上げていますが、来年2月のPart IIでは、「中枢神経領域」「頭頸部領域」「胸部領域」「心血管領域」「骨軟部・関節領域」が企画されています。本特集は、読者の皆さまの日常診療にすぐに役に立つ素晴らしい内容です。

▶ 昨年12月に中華人民共和国湖北省武漢市で発生した原因不明の肺炎患者が報告されてから、早くも1年を経ようとしています。新型コロナウイルス感染は世界中に拡大し、現在も都市封鎖されている地域もあり、多くの死者も報告されています。日本でも、ここ数ヶ月で急速に新規感染者数が増加し、医療体制の崩壊も危惧されています。日本医学放射線学会が中心となって実施しているCOVID-19のサーベイランス調査でも、重症肺炎の報告数が日々増加傾向にあります。このような環境の中では、もちろんこれまでに言われている感染対策が重要ですが、同時にメンタルヘルスケアへの取り組みも大切です。今、我々はコロナウイルスに感染しないだろうか、あるいは他の人に感染させないだろうかと言った不安や、外出自粛などにより学会や会議もすべてリモートになり、人と直接会う機会が極端に減ることでの閉塞感や孤独感などが大きな心のストレスになっています。コロナ感染の終息を果たすには、私達が抱える憂鬱や葛藤を語り合うことのできる環境や横のつながり、すなわち家庭や職場、そして友人など、身近に居る人らによるメンタルヘルスケアが極めて重要であると思います。

今井 裕

「臨床放射線」第65巻第13号

2020年12月10日発行（毎月10日発行）

定価（本体2,600円＋税）

年間購読料金 定価（本体39,700円＋税）

[年間13冊（臨時増刊号を含む）の誌代]

年間予約購読者に限り送料無料

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14

TEL 03 (3811) 7165 編集部直通

TEL 03 (3811) 7184 営業部直通

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ <http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社

広告申込先 福田商店 TEL 06 (6941) 5600

FAX 06 (6941) 5605

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつと事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088、FAX 03-5244-5089、e-mail info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。